

大戦前夜 第二次世界大戦はどのようにして始まったか

■ポーランド独立

1918年、5年間にわたってヨーロッパ全土を戦火に巻き込んだ第一次世界大戦が終結しました。前年にロシア帝国は革命で崩壊しており、ポーランドは123年ぶりに独立を回復しました。新生ポーランドの国家元首となったユゼフ・ピウスツキは、他国に侵略されないバランス外交とともに、ポーランド陸軍を再建して国防に力を注ぎました。

■ナチスとソ連の脅威

しかし、1935年にピウスツキが没すると、ポーランドに再び暗雲が立ちこめます。ポーランドの西では、ヒトラー率いるナチス・ドイツが周辺諸国に軍事的な圧力を強め、東ではソ連が強大な軍事力をもって他国を脅かしつつありました。個人の自由を尊重する平和な国家をめざすポーランドは、暴力的なファシズム（国家全体主義）を掲げるナチス・ドイツと個人の自由を認めない共産主義国家ソ連との間で、再び苦難の道を歩むのです。

■ヒトラーの危険な賭け

1933年1月にドイツ首相となったヒトラーは、第一次世界大戦の講和条約（ベルサイユ条約）の破棄とドイツの再軍備を宣言し、「他国に奪われた領土」の回復政策を推し進めました。

1936年には、英仏両国の反応を用心深くさぐりながらフランスとの国境地帯にドイツ軍を進駐させましたが、両国からの抗議も軍事的な反応も全くありませんでした。

これに気をよくしたヒトラーは、1938年、自身の故郷であるオーストリアを併合、同じ年、軍事産業の先進地であったチェコに侵攻しました。イギリスとフランスが間に入り、外交による解決を図りましたが、結局は当事国を抜きにして、ドイツとイギリス・フランスの間で勝手にチェコ西部地方のドイツへの併合が決められてしまいました。ヒトラーは危険な賭けに勝ったのです。



■英仏の誤ったメッセージ

ヒトラーの暴挙に対して、ヨーロッパの軍事大国であったイギリスやフランスは、戦争になることを怖れて終始対話による解決を試みしました。派手で巧みなナチスの宣伝活動に惑わされてドイツの軍事力を過大評価していたこともあります。イギリスやフランスとしては、ドイツの軍事的脅威が西方の自国に向くよりも、東方の国々で適度の緊張があった方が都合がよかったのです。英仏両国のとった弱腰外交は最終的にドイツに譲歩することとなり、軍事力による恫喝外交こそ最も効果的な国力増強であると、ヒトラーに思い込ませることになりました。

■ポーランド回廊とダンツィヒ問題

ポーランドが分割されている123年の間に、グダニスクを中心とする北部地方にはドイツ人のプロイセン国ができていました。

第一次世界大戦でドイツが敗れ、ヴェルサイユ条約によって西プロイセンはポーランドに返されました。また、東プロイセンがドイツ領に残された代わりに、海への出口として「ポーランド回廊」がポーランドに割譲されましたが、港湾都市グダニスク（ドイツ名ダンツィヒ）は住民の90%以上がドイツ人であったため、ドイツ・ポーランドどちらにも属さない「自由都市ダンツィヒ」として国際連盟の監督下に置かれることになりました。



■ヒトラーの要求

1938年10月、ヒトラーはダンツィヒのドイツへの返還及び、東プロイセンとドイツ本国を結ぶ高速道路と鉄道の建設をポーランド回廊（旧西プロイセン領）内に建設することをポーランドに認めさせようとします。第二次世界大戦勃発の11ヶ月前のことでした。

- 要求は次のようなものでした。
- ・ダンツィヒ（グダニスク）の主権はドイツに返還される。
 - ・ダンツィヒ及び東プロイセンとドイツ本国とを結ぶ高速道路と鉄道の建設及び治外法権を認める。
 - ・ダンツィヒにおける港湾の自由な使用を認める…など。

■秘密外交

ところが、ポーランドの外務大臣ユゼフ・ベックはヒトラーからこのような要求があったことを国民はおろか、政府や軍の幹部にも知らせませんでした。外交の秘密特権を許されていたこともありますが、長年他国に国土を占領されてきた国民の猛反発が予想されたからです。彼はドイツと友好関係を保ちつつ穏便に処理できると考えていました。なぜなら、その数ヶ月前にドイツを訪問してヒトラーと会談しており、この時はヒトラーがポーランドに対して友好的な態度を示していたからです。

しかし実際は、ヒトラーがポーランド陸軍の力を恐れ警戒して穏便な態度をとっていただけで、すでにドイツにとって失地回復は後戻りできない政策となっていたのでした。

当然、ベック外相はこの提案を拒否し、この時からドイツとポーランドは急速に敵対していきます。

■開戦

1939年9月1日、ドイツ軍がポーランドに侵攻、3日にイギリスとフランスがドイツに宣戦布告し、第二次世界大戦が始まりました。戦争準備をしていなかったポーランドは軍事力に劣りながらもよく防戦しましたが、2週間後には東からソ連軍の侵攻を受け、領土の大半を独ソ両軍に占領されてしまいます。

ポーランドは降伏せず、政府と軍は中立国のルーマニア経由でイギリスに逃れ、大戦の終わりまで連合国軍として戦いました。